

共同印刷グループ 2018～2020年度 中期経営計画

2018年5月11日

共同印刷株式会社

目次

1. 2017年度振り返り
2. 経営ビジョンと中期経営方針
3. 2018～2020年度中期経営計画
 - ・経営目標数値
 - ・事業戦略
 - ・主要施策
 - ・設備投資計画

	2017年度 期初計画	2017年度 実績	計画比
売上高	980億円	950億円	△3.0%
営業利益	33億円	17億円	△47.7%
経常利益	41億円	26億円	△35.5%

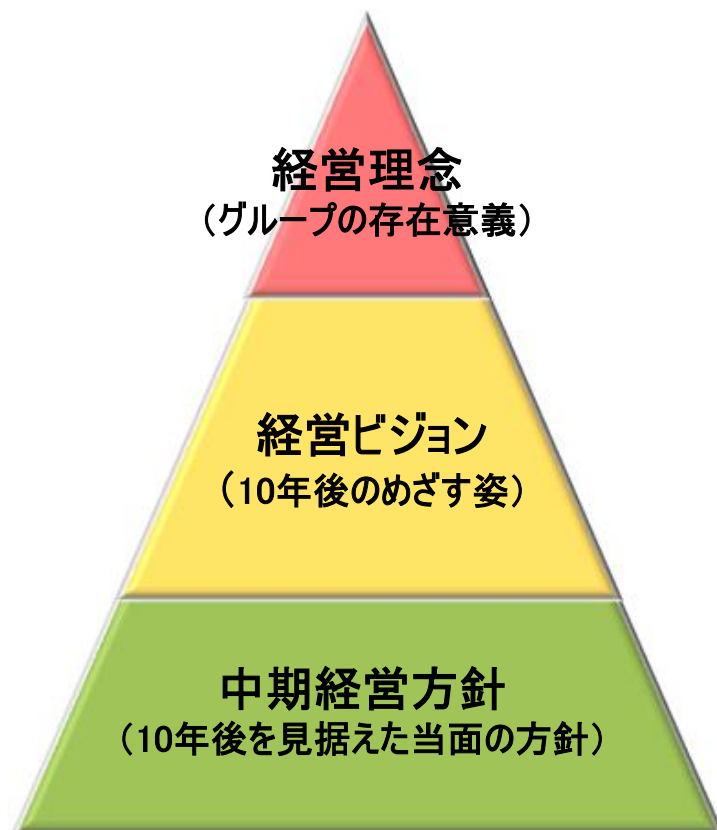
情報系事業

- ・デジタル領域に注力し販促支援サービスや業務支援サービスの受注拡大に取り組んだものの、紙媒体需要の減少が続くなかで、雑誌や書籍、販促印刷物の受注減少に歯止めをかけることができず、売上高・利益が減少しました。
- ・BPOの受注拡大をめざして設備・人員を充実させましたが、想定した内容での受注拡大を図れず、利益悪化を招きました。

生活・産業資材系事業

- ・紙器事業の生産工程再編や海外でのチューブ事業の拡大に取り組んだ結果、売上高・利益が増加しました。

10年後のありたい姿を示した2018年度からの新しい経営ビジョンを策定しました。
中期経営計画の実行によって達成をめざします。



- ・経営理念
—印刷事業を核に、
生活・文化・情報産業として社会に貢献する
- ・経営ビジョン
—私たちは、
誠実なコミュニケーションと
市場をリードする技術力でお客さまの思いをカタチにし、
新たな価値を創出し続ける
企業グループをめざします。
- ・2018～2020年度 中期経営方針
—強みの育成・拡大と、事業基盤の改革に挑戦し、
成長を続ける。

■ 経営目標数値

	2017年度 実績	2020年度 計画	2017年度比
売上高	950億円	1,080億円	+13.6%
営業利益	17億円	40億円	+131.7%
経常利益	26億円	47億円	+77.7%
ROE	3.2%	5.0%	
EBITDA※	65億円	100億円	

※EBITDA = 営業利益 + 受取利息・配当金 + 減価償却費 + のれん償却費で計算

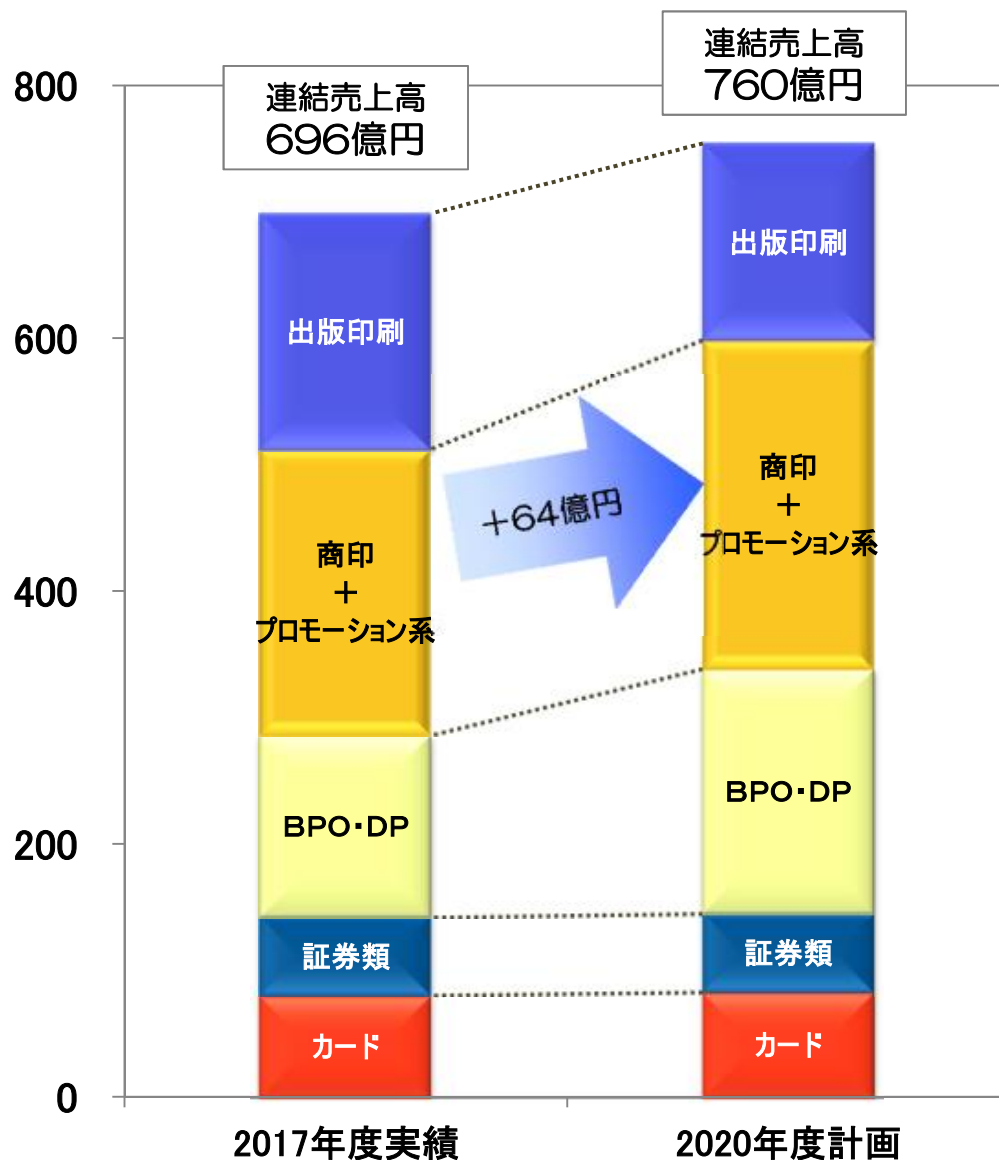
■ 経営目標数値(事業別)

	2017年度 実績			2020年度 計画		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
情報系事業	696億円	4億円	9億円	760億円	21億円	26億円
生活・産業資材 系事業	233億円	7億円	8億円	300億円	17億円	18億円
その他※	20億円	5億円	8億円	20億円	2億円	3億円
グループ全体	950億円	17億円	26億円	1,080億円	40億円	47億円

※その他には調整額を含みます。

売上高拡大をめざすための施策	情報系事業	<ul style="list-style-type: none"> ・販促支援や業務支援に向けたソリューション提案を推進し、出版分野やプロモーション分野でのトータル受注を拡大。 ・川島ソリューションセンターの高いセキュリティ環境を活かし、業務の最適化と効率化を実現するBPOの提案活動を推進。
	生活・産業資材系事業	<ul style="list-style-type: none"> ・リキッドパッケージへの注力による軟包装事業の拡大。 ・東南アジア市場の開拓によるチューブ事業の拡大。 ・高機能フィルムの機能と用途の拡大と新規市場開拓による医薬・産業資材事業の拡大。
効率向上に向けた構造改革施策	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷市場規模の変化に合わせた柔軟な営業・製造体制の構築。 ・AI、IoT等の新しい技術を活用した効率性および生産性の向上。 	
従業員満足度向上のための施策	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の実行と人材育成プランの充実。 	
企業価値向上のための施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ROE、EBITDAの向上をめざし積極的かつ効率的な投資を実行。 ・配当性向30%以上を目標とするほか、状況に応じた自社株買いを検討。 	

■ 情報系事業のポートフォリオ

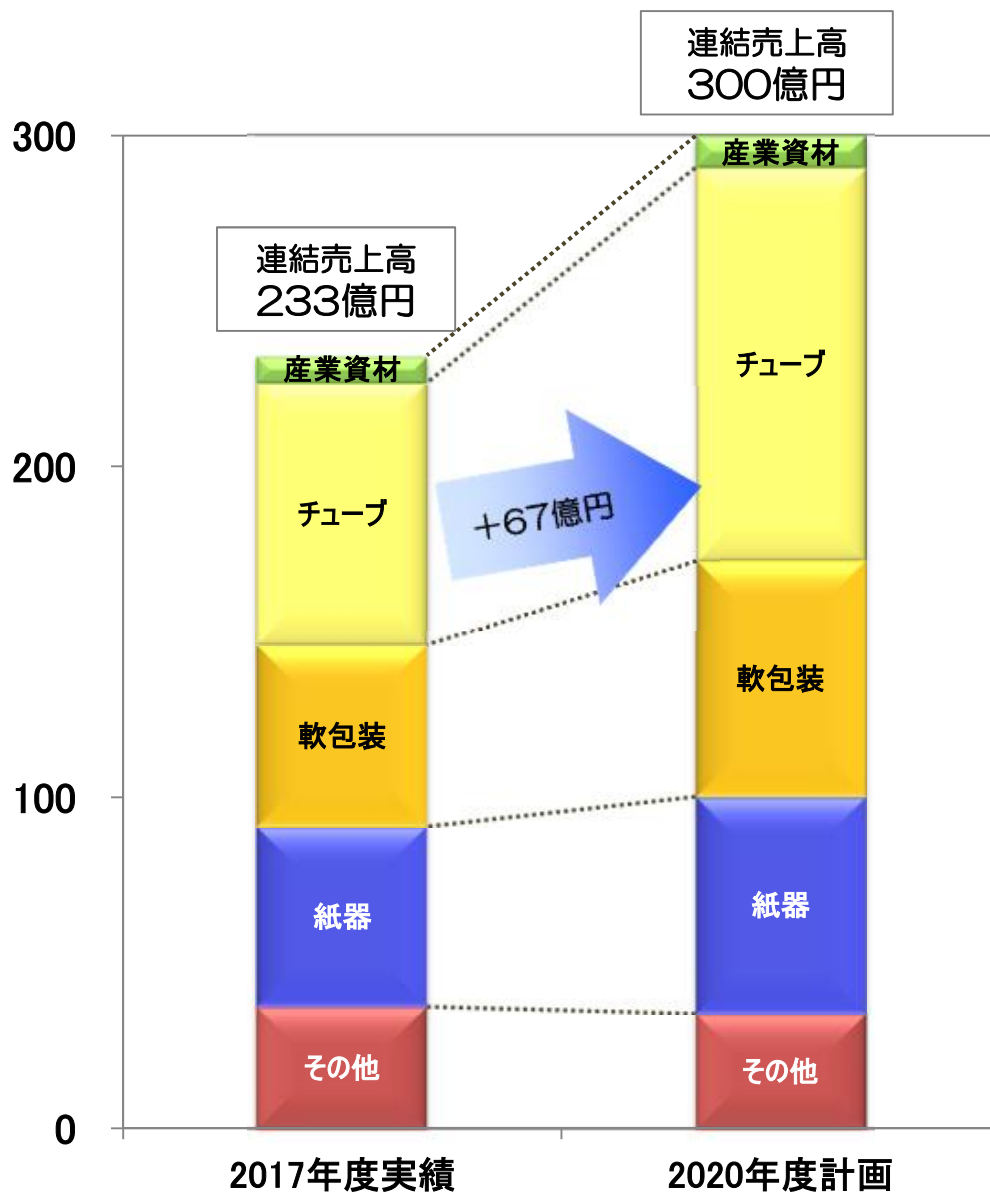


主要施策

- ・お客さまの販促支援や業務支援に向け、デジタル領域を中心に多様なソリューション提案を推進し、出版分野ではマンガをはじめとしたデジタルコンテンツ関連の受注拡大、プロモーション分野においては、Webを活用したプロモーション施策をはじめトータル受注の拡大をめざします。

- ・デジタルコミック書店「ソク読み」の販売力強化と、マンガを中心とした海外への著作権販売事業拡大を通じて、電子書籍事業の拡大をめざします。

- ・業務の最適化および効率化の実現に向けた細やかな提案活動と、業界トップクラスのセキュリティ環境を構築した川島ソリューションセンターの受託体制により、金融機関や官公庁・地方自治体からのBPOの受注拡大に取り組むとともに、新たに医療や介護の分野でのBPOの受注拡大をめざします。



主要施策

- ・新たに竣工した守谷工場軟包装専用棟の機能を活かし、食品分野を中心にTパウチやハンディ・キューブをはじめとするリキッドパッケージ(液体包材)の提案を進め、軟包装事業を拡大します。

- ・チューブの生産体制強化により、国内トップシェアを誇る歯磨き用チューブの安定的な供給に努めるとともに、化粧品分野への提案を強化し、受注拡大を図ります。またベトナムとインドネシアの拠点を活かし東南アジア市場における当社ラミネートチューブ製品の拡販を進め、チューブ事業の拡大をめざします。

- ・高機能フィルムのラインナップを充実させ、新規得意先や新規市場への提案活動を通じて、医薬・産業資材事業の拡大をめざします。

- ・紙器事業では、ラップカートンとティシューカートンを中心に、安定した収益の確保に取り組めます。

	2018～2020年度 累積投資額	構成比
情報系事業	85億円	29.3%
生活・産業資材系事業	150億円	51.7%
(その他)	55億円	19.0%
グループ全体	290億円	100%

主な設備投資案件

- ・守谷工場再編(2017～2018年度)
- ・越谷工場物流倉庫建設(2017～2018年度)
- ・デジタル印刷～製本ライン(2019年度)
- ・和歌山工場増築(2020年度)

参考)小石川本社再開発事業
(2022年3月新社屋竣工予定)